お引越しまでもう少し…。

緑の園 7月号

ヒルトップハイツ
グリーンプラザ
デイサービスセンター
だより

第８５号

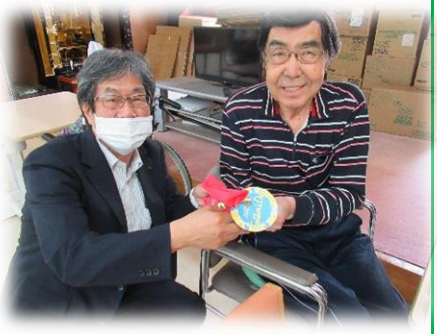
令和５年７月１日発行

72 Seasons/Metallica(2023)

新しい施設への お引っ越しは９月５日です。

特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツ等移設改修工事はいよいよ今月いっぱいで終了いたします。

最後まで残されていた緑の園/グリーンプラザの調理室の工事もあと少しで(7/9)終了の予定です。



工事が完了した後ベッドなどの備品類を搬入した後に入居の予定となっております。

丸瀬布ヒルトップハイツへのお引越しは９月５日(火)を予定しております。(9/4に物品の移動を行います)

１４カ月に及ぶ工事もま残すところあと１か月、新しい施設での生活まであと少しです。

６回目の新型コロナウイルス予防接種の進行状況。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが５月８日から変更されてから２カ月近く経過しました。北海道におきましては1週当たり1,400人程度で推移していますが、全国的には４月上旬以降緩やかな増加傾向となっており今後も続くことが予想されています。

特に沖縄県の感染者数の増加は著しく医療のひっ迫する懸念が高まっているそうです。

まだまだ感染状況は予断が許されない状況が続いておりますがヒルトップハイツは先月の１２日と１９日、緑の園/グリーンプラザは２２日と２９日にそれぞれの施設で６回目の新型コロナウイルスワクチン接種を実施いたしました。

６月１６日に開催された新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードでは、今後の見通しとして、過去の状況等を踏まえると、新規感染者数の増加傾向は継続し、夏の間に一定の感染拡大が生じる可能性がある。

また、感染拡大により医療提供体制への負荷を増大させる場合も考えられる。(以上、新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料より抜粋)

とのことですので皆さん充分注意してくださいねよろしくお願いいたします。(終わり)

６月にはこんなことがありました。

先月の１４日(水)丸瀬布保育所の園児さん６人が緑の園/グリーンプラザの入園者様にかわいらしいダンスとお歌をご披露いただきました。

当日は、感染症対策を施したうえでご来園いただきました。

何しろ園児さんのご慰問は令和元年(2019年)以来ということもあり皆さんの表情は崩れっぱなしで、心から喜ばれておりました。

元気よく、一所懸命に体いっぱいを使って動かしている姿はその場で観覧していたお年寄りはもとより私たち職員も元気づけられました。

丸瀬布保育所の園児の皆さん本当にありがとうございました。これからもよろしくです。

また、先月は父の日がありました。

それぞれの施設で父の日のプレゼントを入所されておられるお父さんに感謝の気持ちを込めてプレゼントをお渡しいたしました。

今月もどうぞよろしくです。

令和５年も今日から後半戦に突入です。

新型コロナウイルス感染症もインフルエンザウイルス等と同じ分類に代わりましたが第９波の入り口に差し掛かったとのことですのでとても心配です。

第９波の規模が第８波を下回ることとなれば収束に向けて大きく前進したことになるのでしょうが日本全体の抗体保有状況は５月時点では４２.８%だそうです。

いずれにしてもまだまだ油断は禁物です。

さて、突然ですが先月グリーンプラザの会議で使用した資料の一部を紹介します。

令和５年６月２０日資料

「昨年の１１月、グループホームで穏やかに生活していた９１歳の母が２度目の脳梗塞を発症し、総合病院に救急搬送された。

その後、私は往復２時間以上もかけて、母の見舞を続けた。

行くたびに寝たきりの母を見るのはとても悲しく切なかった。

急性期も過ぎ、私自身の体力も考えて、通勤途中に寄れる近くの施設に入所できるようお願いした。

気になっていることがあった。鷹の爪のように伸びた母の足の爪だ。

新しい年が明けて早々、母は施設に入園となった。

爪はそのままに。

入園して３日目母の爪はきれいに切りそろえられていた。私はとてもうれしかった。」

このお話はコロナ禍の前に入所された方のご家族から直接伺ったものを文章にしたものです。

現在は思うように面会もできず私ども職員としまして心を痛める状況が続いておりますが、このようにほんの些細な身体的な変化にも気づいていただけること、そし喜んでいただけることを痛切に感じました。

私たちにとって日常的に提供される当たり前の介護をちゃんとやること(笑顔で)はとても大切なことです。

そうすれば思いは必ず伝わるんだというエピソードのひとつとして提供しました。

服が汚れていれば交換する。爪が伸びていれば整えてあげる。これらがすべてではありませんが私たちにとって目立たないけとお年寄りを支える大切な介護です。

ということで今月もどうぞよろしくです。(おばら)